



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題	「より良い明日のために今日を築く」
アジア会長主題	「アクション！」
西日本区理事主題	「風となれ、ひかりとなれ」
中部部長主題	「輪を拡げ 明るく楽しく 元気よく YMCAとともに」
クラブ会長主題	「見つける！つなげる！よくする！ 新しいポジティブネットの輪を創る」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2020年 6月号

—<今月の聖句>—

主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。

それは朝ごとに新たになる。あなたの真実はそれほど深い哀歌

3 章 22～23 節

クラブホームページ <http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2019-2020.pdf>

2020年 6月例会 他ご案内

@5月第一例会・WEB会議(担当 吉田)

と き：6月18日(木)

時 間：19:30～

- ・Zoom システムでの会議となります。
- ・事前に荒川君より ID, PW 配信あります

@2020年度一泊例会 (担当・坂口)

と き：7月4日(土)～5日(日)

ところ：日本 YMCA 同盟 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
0550-83-1133

費用：1人1泊2食付きで約10,000円
(お子様は相談)

- ・ふじさんぽ(お弁当付き)2,815円

@日本語学院留学生支援 (担当 吉田)

日本語学院への下記支援品を応募します

- 1 マスク 材質・サイズ問わず
 - 2 体温計 仕様・タイプ問わず
 - 3 消毒用スプレー・希釈用エタノール(70%以上含有がベスト)、界面活性剤成分を含有している製品、次亜塩素酸水など
 - 4 除菌用ウェットティッシュ
 - 5 使い捨て手袋 材質問わず
(食品衛生法適合品)
 - 6 その他、留学生へ支援となるもの
- 南山YMCA遠藤連絡主事へ持参してください

5月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(月)	
	在 席 者	14名	第 1 例 会	-名	当 月・切 手	-	ニコ BOX ノート	-
	例会出席者	14名	第 2 例 会	1名	当 月・現 金	-	感 謝 ファンド	-
	当月出席率	100%	そ の 他	1名	累 計	-	累 計	-

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
＝強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う

5月第二例会・オンライン例会議事録

クラブ会長 吉田一誠

日 時：5月21日（木）20時頃～21時30分頃

出席者：荒川、青木、阿部、遠藤、坂口、信田、
下村、高田、服部、坂野、松原、三井（チャットによる参加）吉田 西日本区のオンライン Meeting に出席
中の早川さんを除いて全員出席でした

ゲスト：東海クラブ 大島

「内容」

報告：

1-1 ワイズ関係の動き報告 吉田一誠

- * 西日本区大会中止の伴い代議員会ははがきによる投票となった。（5月31日締め切り）議事についての資料が吉田宛に郵送された。投票については吉田に一任とした。
- * 中部の評議委員会もメールによる投票となった（5月21日締め切り）投票結果についての議事録を配布予定。
- * ロースターの初校締め切り5月末（初校の校正は5月20日送付済み）
ロースター購入希望者 荒川、服部、松原、遠藤、坂口、吉田 合計6冊
東日本区ロースター購入希望 荒川
- * 東陵クラブ大槻さん 叙勲お祝い祝電（3380円）を送った。

1-2 ロシア IBC 状況報告 松原行謙

- * IBC提携のドキュメントについて3クラブのサインが完了、書類上ではIBC成立となった。ここまでの松原兄のご尽力に感謝！
- * 締結記念品のようなものを送ってはどうかという意見が出されこれを承認、具体的な品物については松原兄より提案をいただくこととした。

1-3 全国YMCA、名古屋YMCA 報告 遠藤恵美子

- * 名古屋市の学校の夏休みが7月21日から8月16日に短縮となる予定で、これに伴い夏のキャンプは大幅見直しとなる。詳細が決まり次第連絡する。

1-4 7月1泊例会 状況確認 坂口功佑

- * 5月15日に申し込み完了、現状では先方も受け入れ可ということ。状況が確定次第詳細を再連絡する。

1-5 日本語学院支援について

1. オンライン日本語交流会について
 - * 第一回が5月27日（水）12時半から13時半で開催される。希望者は惟任先生まで申し込み。
 2. 日本語学院から支援要請のある商品
 - 1) マスク（300枚ほど）
- * とりあえずの対応としてメンバーが手持ちのマスクを提供 信田100枚 荒川50枚 青木50枚

吉田42枚（5月21日現在）

南山Yの遠藤さんのところに各自持参する。ある程度集まったら遠藤さんから学院に連絡。
* そのほかクラブとして500枚程度を購入することを承認 30円/枚程度で購入できものを手配し配達する。高田s よろしく

2) 体温計

- * 希望の体温計タイプ、非接触型？それとも普通の体温計？を確認、タイプにより価格の差があるので希望のタイプ、数量を勘案して購入検討し提供

3) 消毒スプレー

- * これは教室などの除菌用かと思われるが、とりあえずの希望数量を確認。体温計との兼ね合いで検討、提供する。

4) 3月以降例会のプログラムもなく今年度の予算も未消費分があると思われるのでその額を確認できる範囲で協力をしていく。

服部さん 決算見込みを出してください。
尚、除菌ウェットティッシュは現状入手がむづかしいようなので、継続検討品とする。

5) 今後ともに日本語学院の留学生の支援を継続していくことを確認した。

3. 次回 6月18日（木）19時半より オンライン例会として開催。

IBC締結進捗報告

ファンド・国際交流委員 松原 行謙
ロシアの St. ペテルブルク Smena クラブの Elena Galyanova 会長、モスクワ Friends クラブの Lubov Salomon 会長及びグランパスクラブの吉田会長の署名を IBC 証明書にいただきました。

また覚書にも上記3会長の署名をいただきました。あとは利根川 IBC 国際・交流主任の署名と日付をいただき IBC 締結承認となります。関係者とクラブメンバーみなさんのおかげでもうあと一歩のところまでこぎつけることができました。ひとまずほっとしています。ありがとうございました。

中部評議会報告

2020-2021 次期中部部長
早川 政人

2020年～2021年の次期中部部長をさせて頂きまず。部長主題は『知らせよう ワイズの奉仕活動を！』にしました。次期役員研修会もコロナウィルスの影響で出来なくなり 各クラブ会長・事業主查の皆さんと顔を合わせることができずにいましたが5月23日にズームで中部の会長・主查の方々にも参加して頂き評議会が行われて無事に承認されました。中部の役員の方のPCで顔を見ながらの評議会

は新鮮な感じと身近な感じを受けました。二次会もあり時間も忘れて談笑になりました。コロナの影響でワイズメンズクラブ西日本区では区大会も開催が取りやめになり、ホストのびわこ部は企画の変更など努力をされ次期の京都部にバトンを渡します。

2020年～2021年から次期理事は京都トゥビークラブの古田ワイズになります。中部部長として古田理事を盛り上げていこうと思いますので、クラブメンバーにも色々とお手伝いをお願い致します。西日本区では各クラブにコロナの影響をどの様に受けているかを調査して対策を立てるためにアンケート調査をしていますのでご協力をお願いします。

今思うこと、なすべき事

2019 - 2020 西日本区理事
戸所岩雄

私たちワイズメンは自らの意志により、他者への思いを持つことによって得られる精神的充足感を抛り所に、生きることの意義を己に問うてきました。

社会的弱者や被災された方々、経済的困窮の立場にある方々への思いが底辺にあり、繋がりが、活動する意味を持ち得ていました。しかし今回のコロナウイルス感染拡大の惨禍は、我々人類すべてが自らも被災の当事者の立場になるという、戦後今日までに経験のない惨状に見舞われています。今まであたりまえのようにあった日常や社会的・経済的環境が根底からくつがえされてしまう現実、に恐れおのっている方も多くおられると思います。

日常の成り立ちにも不安を抱いておられ、ワイズ活動どころでない、YMCA 支援どころでないと思いのメンバーも多くおられるとお聞きします。

ここで今、しなければならぬこと

・ひとつは困窮されているメンバー（仲間）にフォロー出来る方は声がけをすること

・ひとつはワイズ活動のこととしてそれに向けて

● 拡大常任役員会（今期の2監事、直前・今期・次期・次々期理事＋今期三役）

メンバーによる意見交換と協議

● 今期役員＋三役メンバーによる協議と意見交換

● 次期役員＋三役メンバーによる協議と意見交換等を頻りに「ZOOMミーティング」を使い行っています。東日本区とも情報（区の状況や互いの協議内容等）を共有し意見の交換を行い、歩調を合わせる予定です。期末を目前に迎える今、遅滞無きように、またメンバー皆さまが様々な不確実な情報に惑わされないように適宜情報発信に努めたいと思います。先人の言葉に『歴史的に見ると人類は大きな（未知なるものへの）恐怖を感じる時に大きく変化し前進する。』とあります。コロナ惨禍の終息後に起こる変化（社会環境・人々の意識）は産業革命（近代化の始まり以降、最も大きな変換点になるだろうと多くの思想家・歴史学者・経済学者・文化人が語り始めています。今後価値観の変化を我が

身に問われる時、私達ワイズメンやYMCAは何を語るのか語るべきなのか。今までと同じく共に語り合いましょう。この時を私達の置かれてきた環境を考え直す好機と捉えること（なかなかそうは思えなくても）も必要だと思います。コロナ惨禍を奇貨としてより良き明日を思い描きたいものです

（理事通信5月号から転記）

「コロナとどう付き合っていますか」

2020-2021 次期会長
坂口祐祐

3月初めの新型コロナウイルスの感染拡大から人生で初めて私に神様がごお与えになった試練を感じております。特に2月中旬ベトナム旅行の浮かれた気持ちも感染していたらと刻々と事の重大さを感じ、4月外出自粛の呼びかけから緊急事態宣言となり私どものメインのお客様である外食産業の低迷が現在私どもの仕事も半分近く減り工場も休業日が多くなりました。もちろん3月より県外の出張も取りやめとなりお客様とはテレワークとなりました。そんな自粛生活中の変化を並べてみます。

- ・月間3万円近くのETC請求もほぼ0円となりました。
- ・お客様や友人との会食もほぼ無くなりカード請求も減りました。
- ・自宅では主に自部屋に籠り好きな釣りの準備をしております。
- ・毎晩楽しみはビールと愛妻の作るお摘みで酔っぱらっております。
- ・NHK オンデマンドにて龍馬伝から坂の上の雲、西郷どん等を観ております。
- ・会社へは仕事もなく毎日出勤してコンビニに寄らず愛妻弁当を頂いております。
- ・ネットでの情報やゲーム、Zoom、買い物等が新しい楽しみであります。
- ・お出かけも沖縄等の予定をキャンセルして知多半島より出ることもなくなりました。

このような生活から消費は美德ではないと気が付き始め、同様に感じられる方も多くと考えます。コロナ終息後の日本も新しい生活様式になると思えます。ネットを生かした生活つまり不必要な移動や会食、消費が減り現在ある商売も減っていき自然にやさしいスローな生き方に変化していくと考えます。丁度老後へ差し掛かり断捨離の段階です。これからはなるべく不必要なもの（釣り具は外します）買わずにその分楽しみにまわすことに致します。元気で楽しい老後の為頑張ります！

下村 明子

私の姉は介護職、老人ホームで働いていることから、我が家では割と早いうちからコロナ感染に関しては気を付けて過ごすようにしていました。4月からは事務所へ出勤せずに在宅ワークに切り替え、現

在に至ります。在宅ワークをすることが私の働き方を見直す機会になりました。これから第2波、第3波が来るとも言われているコロナウィルス。いつでもどこでも仕事をできる状態にしておかないとなりません。幸いにもパソコンがあれば成り立つ仕事なので、広いスペースや大がかりな設備投資も必要ありません。同時に、このタイミングで高齢猫2匹の通院が始まりました。そして、両親も次第に車を運転しなくなり、車で行く用事は少しずつ私が代わりにこなすことも増えてきました。今までのように自分だけの仕事に使える時間が減って行き、それはもうこれから増えることはないでしょう。

さらに、気が付けばあと2年余りで50歳。自分自身の処理能力も落ちてきて、20代や30代の時のように体力勝負の働き方は次第にできなくなるでしょう。生計を立てていくために働き方を見直さざるを得ない時期がついに到来したと思っています。業務効率化にとって、コロナの影響で新規業務が停滞しがちで静かなこのタイミングは、腰を据えてスキルを習得するには絶好の機会です。加えてコロナ支援のための補助金や借入もあり、まとまった資金を調達するのも例年よりも利用しやすい状態です。これを逃すと、またいつも通りのあわただしさに流されてすべてが先送りになってしまいそうです。そろそろ本腰を入れて業務について、また自分自身のライフスタイルについてきちんと考えなければならないことに気付くことができました。1年後には自分自身がどのように変わっているのか楽しみにしながら今、独り静かに働き方改善を始めたところです。

遠藤恵美子

自宅にすることが多い日々には、やはり家の掃除をする時間が多くありました。掃除を始めるまでの1歩が重たいのですが、始めてしまうとどんどん進み、普段使っていない物の多さに改めてびっくりの日々でした。この調子で断捨離を続けていきます！普段できなかったことに取り組めたことはよかったです。やっぱり普段の楽しみの、映画館行ったり、山に行ったり、飲み会をしたりしたいな~と思う日々です。

三井 秀和

私の今の日常生活では特にコロナ感染予防対策としての外出自粛を始めとする様々な規制にはほぼ影響はありません。毎日、妻のサポートを含めいろいろとやる事が多くあり朝4時半に起床、調理等用事を済ませ朝食を食べ7時より年寄宅へ行き朝食づくり、洗濯と掃除等の家事をこなし介護施設への送り出し、帰宅後11時には早めの昼食をとります。12時からツナギを着て草刈り機とチェーンソーらの道具を車に載せ各所の草刈、整備等の為巡回へ、先月から始めた草刈りは重労働で1箇所約4時間費やします。特に近頃の暑さでの汗まみれになり虫に刺されながらの草刈はきついですがそこに一種のランニングハイ的な多幸感があり、楽しんで外での

作業を16時頃までこなしています。



(5月30日の草刈成果)

17時にまた年寄り宅へ行き家事を済ませ自宅にて18時には自宅菜園で収穫できたほうれん草ソテー、白菜の浅漬け、竹の子煮込みらの美味しいおかずとつまみでの夕食、21時に就寝が毎日の日課となつて外の人とのほとんど関わりを持たず毎日忙しくしています。しかし、長年続けているバンド活動が練習スタジオとライブハウス閉鎖で音を出す機会が無いため首を長くして早期の解除を待っています。いつか日本ではコロナ騒動も終わると思いますがこれからも当分、この毎日の私のルーチンは変わりません。今回の「コロナウィルス」の地球全体としてみれば完全な収束は込められないと思います、経験した経済的損失、人的災禍が世の中の価値観を大きく変えていく中、人が持っている「自分」を見つめ直して危機に用心深く対応し変化していけば道が開くと思います。

青木哲史

クラスター、オーバーシュート、ロックダウン、インフォデミック等カタカナ言葉が定着しましたが、「濃厚接触」は今でも漢字のままで少し不思議です。自動翻訳機で翻訳したらThick contactとかRich contactと出ましたが、日本語も英語も距離感が微妙ですね。Deep Contactでは少し実感が出ると思います。又はWithin 2m contactでは定義みたいでちょっと硬過ぎますね。

その昔、出張で新幹線に乗ると、何でこんなに多くの人々が同日の同時刻に同方向を向いて移動する必要があるのか？特に希望の指定席が取れない時にはよくそう思いました。その多くは不要不急の出張ではないかと思いつつながら、実は自分もその一人である事によく気付きました。

そもそも不要不急の出張というのはおかしい。不要なら止めれば良く、不急なら延期しましょう。

テレワークは確実に普及していくでしょう。医者テレ診断も広がっていく。以前にテレビ会議が普及しましたが、やっぱり実際に顔見て話さないと・・・に戻ったところもあります。今回も同様な流れは来るでしょう。実際にコロナ後もテレワークを採用すると明言する会社も出てきました。ある大学の先生は、ZOOMで試験を実施して、カンニングして

いないか画面で監視するそうです。先生は大変ですが面白いですよ。世界中の人々が一斉にマスクしている姿を見るのは今回が最初で最後と願います。

世界中でマスクの習慣が定着すれば、コロナに限らず罹病率は下がります。昔ドイツでマスクして出勤したら「すぐ帰れ」と言われましたが、今では欧米もマスクが定着して良い事です。結論としては、人類のこんな世界的大凶事はこれで最後にしてほしいと祈ります。

高田 士嗣

今回のコロナウィルスはワクチン無し、治療薬無し、治療方法も手探り状態で、陽性になったら自己免疫で治療。対策は「人が集まってはいけない・集まらない」

幼稚園から大学の教育関係、ジム運動施設、レジャー施設等全てに休業要請、イベントも禁止で日本は冬眠状態なので当然プリント注文はゼロ 海外と人、物の交流寸断で船の入港禁止で外交依存の中古車はラマダンとコロナウィルスでWパンチ。オークションもネットのみで（一部勇気ある会場は入場Ok）仮死状態、在庫が多くなり財政圧迫。

受注商品も出荷用の段ボール、パーツが中国から入手困難 持続化給付金を申請したら5月4週で当初予算2兆3000億円オーバーで再度予算承認に時間がかかるようです。日本は本当に海外依存率が高く、蛇口をチョット締められれば簡単に失速

私が体験した唯一のメリットは母の満中陰法要で田舎に帰る時の高速道路が他県移動自粛で貸し切り状態（休日料金は無し）普段2時間半が1時間半に短縮 今まではやりた放題で自然や地球を侵した罰でしっぺ返しが来ていると思います。コロナウィルスは消滅感染リスクがゼロになるとは思えないので、共存しながらうまく付き合い新しい生活様式を作らなければいけません。そんな中過去から学ぶこともたくさんあると思います。

今簡単にお願ひできるデリバリーがありますが昔も出前がありラーメンや蕎麦をお願いしましたが当時は贅沢な事でした。コンビニやファストフードもなく年に数回「トニオ」か「朝熊」での外食が一大イベントでした。昔に戻る必要はありませんが贅沢になりすぎて感謝、喜びが薄れ大事なものが失われたような気がします。所得格差をなくし最低限の生活保障をみんなで助け合うように忠告を受けているような気がします。

ジムがオープンしたら「ピンピンコロリピンコロリ」を目指してまたジョギングに行きたいと思ひます。これって贅沢？（夜道の散歩は怖いから）

荒川 恭次

2月から6月にかけて私のスケジュール表はビッシリ埋まっていた。事業主任の任務も終盤になり、各部の行事訪問・委員会の大阪行き等々、現役時代のビジネスマン並みの気忙しさに心地よさを感じておりました。ところがある日、「新型コロナウ

イルスが中国武漢で発生」というニュースが来てからは状況が一変してしまいました。今でこそ過ぎ去った（まだ途中）過去で平常心ですが、当時は何のことやらわからないうちに、スケジュール表は「二重線中止」がドミノ倒しのごとく浸食していきました。私の生活は何も変わらない（テレワークしましたが）日常の継続ですがテレビ・ラジオ。WEBニュースはコロナ一色でした。



集合で行うスキープログラムのほかクラブ例会・西日本区研修会、西日本区大会、諸会議、YMCA委員会・打合せ等は全て中止。連絡は電話かメールのみと

なりました。これでは事が前に進みません。しかし、Face to faceのコミュニケーションを絶やさないこと。従来からWEB映像会議には興味がありいろいろ試してきましたが、ここに来て浮上したのが「ZOOM」でした。私が求めた「安価でレスポンス良く操作が簡単で多人数が参加できる」を満たしていました。スカイプ、LINEより使いやすく、今や東日本区、西日本区、YMCA同盟でも一般化し、会議・委員会・打合せがスムーズに行われるようになりました。握手等の感触を伝えられるのも近い将来と思います。

こうして変化に対応できる柔軟さで違った日常が始まったようです。グランパスの例会はもちろん、グランパスがホストする次期中部の第1回評議会もZOOMで開催し、高齢者評議員も問題なく使いこなせ、名古屋～三重～金沢～富山の距離感がゼロになりました。おかげさまで私のスケジュール表はZOOM会議の文字がどんどん増えています。

「唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である。（ダーウィン）」

松原 行謙

コロナ影響下いろいろな活動が制限され、非日常になりました。そこでこれまでと違った変化や気付きを今経験しているのです。ひとつには自宅の周りや近くの公園をゆっくりとカメラ片手に散歩することです。季節は冬から春、初夏へと移ろい、それに伴う生命の息吹の移ろいもカメラのレンズを通し変化します。またこれまで以上に自然の生命力・めぐみに気づかされるこの頃です。ふたつめに炒りたてのドリップコーヒーを自宅ですっきりと時間をかけ味わうのです。コーヒーの香りがこんなにも芳醇なものだったのかとあらためて気づかされ、うっとりします。みつつめに読書をより楽しめているということです。興味は広範囲に渡り過ぎ雑学の域を脱しませんが、本の内容と対話できる時間を有意義に使い様々な気づきをいただいています。

このような状況下、生かされている自分に感謝しゆっくり呼吸しています。

そ の 他

1. 今月の誕生日

happy birthday

6月には該当者はいません

世界中の6月誕生月の人に
“おめでとう”



2. 例会等出席状況

No.	氏名	5 / 6 第一例会・中止	5 / 21 第二例会・ネット例会		
1	青木 哲史		○		
2	阿部 一雄		○		
3	荒川 恭次		○		
4	遠藤恵美子		○		
5	坂口 功祐		○		
6	信田伊知郎		○		
7	下村 明子		○		
8	高田 士嗣		○		
9	服部 庄三		○		
10	早川 政人		△		
11	坂野 清治		○		
12	松原 行謙		○		
13	三井 秀和		○		
14	吉田 一誠		○		
	ゲスト		1		
	計	-	15	-	-

感染防止のためクラブ例会 を中止にした場合は EMC調査集計でのカウントは「なし」とします

服部 庄三

家では休日の外出自粛は当然。買い物は食品と必需品だけ、最寄りのスーパーでお買い物。客の少ない時間を見計らって！ 空いた時間はYouTube と撮りためたテレビ録画を見て過ごしています。

会社は公共機関を避け車で通勤。アルコール消毒は当然、社内でもマスク着用、部屋は終始換気状態です。今後夏に向かっての暑さが気にかかります。お客様も多くが食品メーカーで、作るものによって出荷に明暗が生じています。お土産用のお菓子や食品のメーカーは半減以下のところも。逆にスーパーなどの家庭に直結する食品を作るメーカーは倍増のところも。でも全体では減です。

今後コロナとのつき合いがいつまで続くか分からない状況ですが、二次感染に十分注意し、自分なりの生き方を続けていきたいと思っています。

Y M C A た よ り

緊急事態宣言が出ていた時期、ボランティアリーダーたちが子どもたちのために動画配信をしたい！と、自ら動き出しました。当初の予定とは変わった部分もありますが、5月最終週に毎日 Facebook で動画を配信しております。

内容はクラフト、折り紙、クイズ、ビンゴ、人形劇など、子どもたちが家で楽しめることを考えてくれました。この活動を行うにあたって、子どもたちだけでなく、楽しく過ごす姿、笑顔でいる子どもを見たらお家の人も嬉しいのではないかと考えや、直接ではないけれど、子どもたちのために何かできたことが嬉しいというリーダーもいました。リーダーたちの行動力、子どもたちのために何かしたいと思う気持ちの温かさを感じることができました。

「YMCA夏休みの予定」

学童キャンプや日和田ワークなど、キャンプ場のプログラムについては未定です。

決まり次第みなさんへ配信させていただきます。



名古屋グランパスクラブ
連絡主事 遠藤美恵子

今 後 の 予 定

- ・ 7月4日～5日 第一例会・一泊例会 東山荘
詳細は表紙「案内」に記載してあります。
後日、次期会長坂口君より内容について確認連絡があります。
- ・ 7月14日（火）第二例会・WEB会議